

「菊とギロチン」映画賞続々受賞！

キネマ旬報賞 [日本映画ベストテン第2位、新人女優賞 (木竜麻生)、

新人男優賞 (寛一郎)、監督賞 (瀬々敬久) 脚本賞 (相澤虎之助、瀬々敬久)]

ヨコハマ映画祭 [監督賞 (瀬々敬久)、主演男優賞 (東出昌大)、最優秀新人賞 (木竜麻生)]

毎日映画コンクール [日本映画優秀賞、スポニチグランプリ新人賞 (木竜麻生)]

ブルーリボン賞 [作品賞 (邦画ベスト10)]

全国映連賞 [全国映連賞女優賞 (木竜麻生)]

関東大震災直後、急速に不寛容な社会へとむかう時代、女相撲とアナキストが
出会った - 鬼才・瀬々敬久、構想三十年の入魂作『菊とギロチン』は映画賞を
多数受賞、高い評価を得ています。本書は異色の政治学者・栗原康がノベライ
ズした前代未聞の創作評伝小説です。本作に登場する「ギロチン社」と同時代
に生きたアナキスト朴烈を描いた韓国映画「金子文子と朴烈」も現在公開中、
話題となっています。閉塞感漂う今、信念を持って国家・権力に立ち向かった
人々の物語が注目されています。関連書籍と併せてぜひご展開ください！



●映画「金子文子と朴烈」 2/16～上映中

*栗原康コメント&トークイベント

「朴烈。職業、不逞鮮人。天皇は製糞器である。

この地球上のあらゆる権威に、テメエの不逞をぶちかませ。

働かずにごんごん食いたおす。こいつはフテイ野郎だァ！」

*トークイベント：シアター・イメージフォーラム

2/23 (土) 11:00 の回の上映後

●金子文子・アナキズム・栗原康 関連書籍

『何が私をこうさせたか 獄中日記』金子文子 (岩波文庫)

『余白の春 金子文子』瀬戸内寂聴 (岩波文庫)

『狂い咲け、フリーダム アナキズム・アンソロジー』栗原康編 (ちくま文庫)

『アナキズム 一丸となってバラバラに生きる』栗原康 (岩波文庫) など

菊とギロチン

やるならいましかねえ、
いつだっていましかねえ

著 栗原康 原作 瀬々敬久・相澤虎之助

定価：2,200円＋税

判型頁数：四六判並製 432 ページ

装丁：吉岡秀典 (セブテンパーカウボーイ)

ISBN978-4-907053-25-3 C0095

2018年7月発売

発行 タバックス

FAX : 03-3294-2177 JRC宛

◎取次 = JRC tel 03-5283-2230 fax 03-3294-2177

JRCを通して全ての取次への出荷が可能です。

◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

貴店番線印	ご注文数	タバックス	文芸／映画関連書	返 品 条 件 付 き 注 文 扱 い
ご担当 様		菊とギロチン やるならいましかねえ、いつだっていましかねえ 著 栗原康 原作 瀬々敬久・相澤虎之助 2018年7月 定価 本体 2200円＋税 ISBN978-4-907053-25-3 C0095		
ご担当 様		はたらかないで、たらふく食べたい 「生の負債」からの解放宣言 【4刷】 著 栗原康 2015年4月 定価 本体 1700円＋税 ISBN978-4-907053-08-6 C0095		